

第 950 回例会（水無月例会）

日時：2012年6月13日（水）12:30

場所：定例会場

担当：四献アイヘルス委員会

梅雨に入り本年度もあと1ヶ月足らず、会長(L.鈴木豊)のあいさつの中で1年間の任務もそろそろゴールとなりました。あと最終例会を残すのみとなりました。さて本日の卓話講師棚橋慈孝様岡崎生まれ(宇宙航空研究機構JAXAに関わって)をお迎えして「宇宙に関わるお話」いただきました。はやぶさの話、HII-Bロケット打ち上げ予定、愛知宇宙産業ビジネス宇宙飛行ビジネス、宇宙の学校開校等様々方面で映像を通して極め細やかに説明がありました。結婚・誕生祝い品贈呈も行われ最後にライオンズ・ローアにZCP(L.甲村雅彦)がありました。――1年間御苦労様でした。



本年度ZC（L.甲村雅彦） 次年度より終身会員になる（L.和田誠一）結婚祝い品贈呈（L.小野、L.山本）



誕生祝い品贈呈（L.加藤、L.深谷）



卓話講師棚橋慈孝様



司会（L.鋤柄）左、次年度幹事（L.犬塚）



本年度のアワード受賞

第951回最終例会

日時：2012年6月27日（水）18:00

場所：岡崎ニューグランドホテル

担当：出席委員会

本年度最後の例会を岡崎ニューグランドホテルにて行われました。次年度ライオンレディ3名の方も参加され会長(L.鈴木豊)のあいさつでスタートしこの1年間特に1年労力アクティビティー—献血、薬物乱用防止教室、応援しよう福島！教育文化賞、中学生のためのコンサート等なかなか充実した1年でした。例会では年度表彰(クラブ表彰・会長表彰・出席者表彰)も行われ1年間の総決算に幕をおとしました。—1年御苦労様でした。来月より心新たに頑張ってお参りしましょう。「地元地域とともに国際貢献も含めて」—よろしくです。



会長あいさつ



クラブ表彰の方々



会長表彰の方々



会長・幹事謝辞



1年例会皆出席者表彰(16名)



(L.L.鈴木、L.L.清水、L.L.池内)3名の方々



1年例会出席奨励表彰者(10名)

1年労力アクティビティー皆出席者表彰(20名)

3年例会皆出席者表彰(L.山本静男)

また会う日まで

囲碁アマ7段の免状

岡崎 市川さん 「盤上に無限の変化」魅力

七十年以上にわたって囲碁に親しんでいる市川恵一さん(ハ)＝岡崎市羽根町に、日本棋院からアマチュア七段の免状が交付された。「盤上に無限の変化があるのが魅力」と話す市川さん。今もインターネットを通じた対局に熱が入っている。(大津一夫)

父親が手ほどき
小1から親しむ
小学校一年生のころ、父・重蔵さんから手ほどきを受けた。五歳年上の兄・忠勇さんと一緒に習ったが、すぐに兄を追い越した。当時、昼も夜も市川さんの自宅には囲碁愛好者が集り、対局していたという。高校を卒業後、大学へ進学しないで東京にある日本棋院の近くに下宿し、プロ棋士の木谷実さんに師事。一年以上、囲碁漬けの毎日を送った。ただ、プロ棋士として生活を支え



50年以上愛用している碁盤で棋譜を並べる市川さん＝岡崎市羽根町の自宅で



七段の免状

るのは無理だと感じていた。

岡崎に帰ってから日本棋院中部総本部に所属。一時はプロ棋士として活躍したが、家業を継ぐため退会した。

その後は、仕事のかたわら各地の大会に出場しながら腕を磨き、昭和三十八(一九六三)年、五段に認定さ

れた。

現在は主にインターネットで対局。一日中、端末機の前に座って対局を楽しむこともあり、十年ほど前から「腕が上がった」と感じるようになり、傘寿(八十歳)を迎えたのを機に七段の免状を申請した。

「囲碁に運という言葉はない。あるとすれば相手がミスをしたときだけ。実力のある人が勝ちます」という市川さんは、「これからも、今まで通りに囲碁を楽しみたい」と話している。

愛知、岐阜、三重、富山、石川、福井の六県と静岡県の一部をエリアにする日本棋院中部総本部(名古屋市東区)によると、七段の免状を取得する人は年間数人という。